

**共にいる主**

**聖書の全体を学ぶ**

**共にいる主**

**聖書の全体を学ぶ**



..... はじめに .....

「神」とはどのような方で、あなたとどのような関わりがあると思いますか。

「神は偉大で力があるが、私たちのことにはあまり関心がない。」と答えますか。神が偉大であればあるほど私たちからは遠く、その力が強ければ強いほど親しさはない、という考え方です。

その一方で、私たちは神との親しい関係を求め、近くで苦しみや悩みに共感してほしい、と願います。しかし、神の存在が私たちに近くなればなるほど、その力は小さくなり、私たちの弱さを理解できる神には、私たちを助ける力がないというジレンマにおちいることになります。

世界の宗教の中には、力ある神であるが、人には関心がないという神観があります。イスラム教はその一つでしょう。また、人に近い存在ではあるが、助ける力はあまりない神、という考えもあります。神道はその一つでしょう。

クリスチャンの中にも、同じような迷いがあるのではないのでしょうか。神の偉大さを強調すると、親しい関係を持つことが難しく見え、信仰生活が堅苦しいものとなります。一方、神との交わりや主にある喜びを大切に、神との親密さを強調するクリスチャンもいます。しかしそうすると、神は支配者ではなく、私たちの願いに左右され、信仰生活を自分の力や意志によって行うようになってしまいます。

聖書で出会う神は、これらとは違います。聖書によると、神は全知全能であり、かつ私たち一人一人と親しい関係を持つことを願っています。そのために、偉大なる神ご自身が私たちに近付いてきます。この事実は「共にいる主」ということばに表されます。「主」とは、神がこの世の支配者であるという意味です。「主」は神の偉大さを、「共にいる」は神との親しい関係を表します。

神は偉大であり、かつ私たちの近くに存在しているというのは一般的な宗教における神観とは異なっています。

このテーマに沿って聖書全体の流れや関連に注目しながら8回の学びをします。1回に2時間程度必要ですが、時間が限られている場合、少しずつ分けて学び続けることもできます。

聖書を読み、質問に答える箇所では、主に聖書の内容自体を理解します。



は各自でもう少し深く考えたい質問です。



はさらに深く聖書の意味を考えるための質問ですが、とばしてもかまいません。

(注：神に対して敬語を使うかどうかは難しい問題です。日本語の聖書では神やイエスに対して敬語を用いています。しかし、現代の日本の若者の間では、自分とあまり親しくない人には敬語を使い、親しくなると敬語は使わないというように、敬語は社会的な距離を意味するようになってきました。ここでは、神との親しい関係を表すため、あえて敬語は使っていません。聖書を読むとき、そこにある敬語は神と私たちとの距離を意味しているのではないことも覚えておいて下さい。)

..... もくじ .....

- I 創造
- II 反逆
- III 契約
- IV 神の民
- V 新しい契約
- VI インマヌエル
- VII 新しい神の民
- VIII 新しい創造

日本聖書刊行会発行新改訳聖書第三版から引用

# I 創造

初めに神は万物を創造し、私たち人間を神と共にいるように創造した

① うれしいと感じた経験を書き出し、それらを人間関係、大自然や物との関係に分けてみましょう。

創世記 1:1-25 を読みましょう

万物のあらゆるものを想像してみてください。惑星、太陽系や銀河系、山、森や海、分子や原子もあります。私たちがいる世界は恐ろしいほど広大なものではないでしょうか。

- 1) あなたが一本の木、または、一つの心臓などを造るとするなら、どのような技術が必要ですか。どこから始めたらいいですか。必要な材料は何ですか。どのぐらい時間がかかりますか。
- 2) 創世記1:3, 6, 9, 11などによると、神は何によってこの広大な世界を創造しましたか。
- 3) 創世記の神はどれぐらいの力を持っているのでしょうか。

神が造った世界は広大だからすばらしいというだけではなく、形があるのですばらしいと言えます。その形には複雑な多様性があり、深遠な秩序ある構造です。

4) 創世記1:1-25によると、神は何を創造しましたか。

5) 秩序とは、あいまいではなく、区別がある状態です。この箇所  
で、何が二つに分けられ、区別されましたか。

6) 主である神は、自分が造ったものをどう評価しましたか。

1) 創世記1章に次の表現が何回出てくるか数えて下さい(新改訳又は口語訳聖書を使ってください。一節に同じ表現が2,3回ある場合もあります)。

「神は言われた」又は「神が仰せられた」(3,6,9,11,14,20,24,26,28,29)

「創造された」又は「造られた」(1,7,16,21,25,26,27)

「種類にしたがって」(11,12,21,24,25)

この文を書いた人はどうしてこのような形式を用いたのでしょうか。

2) 聖書全体は多様性に満ちています。どのようなところに多様性が見られるでしょうか(例、著者)。また聖書には一貫性もあります。それはどこに見られるでしょうか。この特徴によると、最終的に聖書を作ったのはだれだと言えるでしょうか。

① 海や山で夜空を見上げ、遠くの星を見る時、自分の存在はどのように感じられますか。この星をことばだけで創造した神に比べると、自分はとても小さく思えるのではないのでしょうか。神は、私のことなど気にとめるはずがないと感じたことがありますか。

### 創世記 1:26-2:3 を読みましょう

人は神が創造した秩序の一部として造られました。そのため人間の世界にも秩序があります。

- 1) 27節によると、人間の世界にはどのような区別や多様性が与えられていますか。
- 2) その区別がなければこの世はどうなっていたのでしょうか。その区別のゆえにどのような人間関係の豊かさが可能となりますか。

他の被造物にも同じく区別がありますが、人間の存在は他の被造物をはるかに超えていることがこの箇所から分かります。

- 1) 石や木はどのように神と関係を持つことができますでしょうか。
- 2) 27節によると、人間の特徴は何ですか。
- 3) そのように造られているなら石や木と違い私たちが神との関わり方はどのようなものなのでしょうか。
- 4) 神のかたちに造られた私たちは、お互いをどのように扱わなければならないのでしょうか。



1) もし、人が偶然この世に現れたのだとすれば、私たちはお互いをどのように扱うでしょうか。

2) この社会では、どのような人間観が主流となっていますか。それはあなたの人間関係にどのような影響を与えていますか。



神があなたの全てを知り、毎日あなたを見守っているということをしつくり考えたことがありますか。そのように考えると、どのような気持ちになるのでしょうか。

人は神との関係を持たずに、満ち足りた生活ができるでしょうか。逆に、神との関係を無視するなら、人間関係はどうなるのでしょうか。

この学びの初めに思い出した、素晴らしい経験全てが神のもとで起こったことだとすると、私たちは神へどのように応答しなければならないのでしょうか。

## II 反逆

神と人との良好な関係が崩れ、  
万物全体の構造や人生の喜び  
がこわれて行く



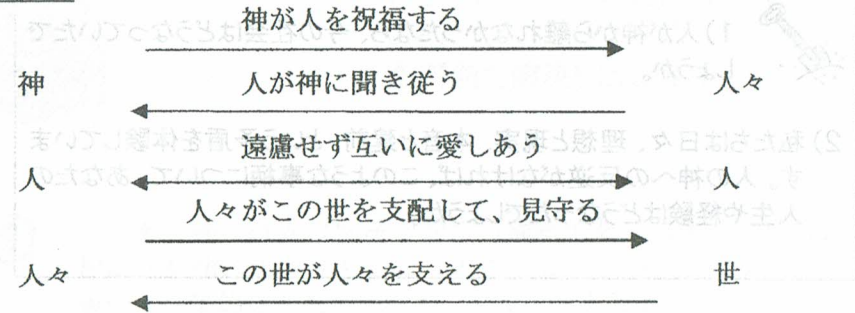
あなたが経験した苦しみや悩みを書き出し、それらを人間関係、大自然や物との関係に分けてみましょう。

### 創世記 3章を読みましょう

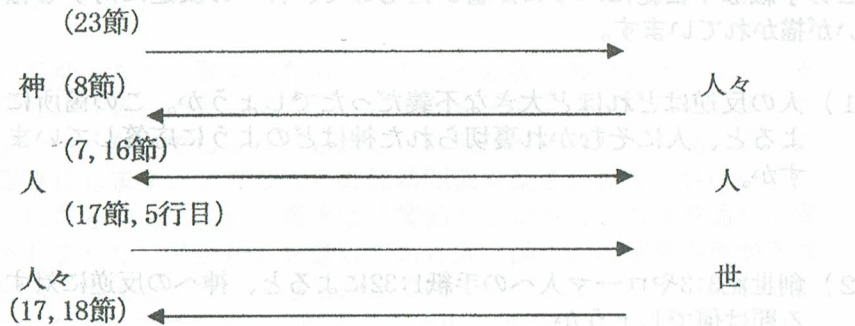
この箇所では、神が与えた秩序や構造が崩れていきます。人の反逆によって、神と人との深い信頼関係がこわれ、人間どうしの関係もこわれてすべてが混沌となりました。これは「墮落」とも呼ばれます。

- 1) アダムとエバがとった行動の動機は何でしたか。実を食べることを通して明らかになったのはどのような心の状況でしょうか。(3:5)
- 2) 創世記3:5の出来事を表すのに、なぜ「反逆」という言葉がふさわしいのでしょうか。
- 3) その結果、神が与えた秩序はどうなったか、創世記1章と3章を比べましょう。次のページの「墮落の前」の図を見ながら、3章の状態を「墮落の後」の図に書き入れて下さい。(矢印は責任や行動の方向)

### 墮落の前



### 墮落の後



反逆の結果としての混乱は、世界やあなたの周りのどのよう  
なところに見られますか。

反逆の結果としての混乱は、あなたの人生のどのようなど  
ころに見られますか。(例えば「したくなかったが、して  
しまった」という矛盾する経験)。

その混乱を解決するためには何が必要でしょうか。

### III 契約

ひとりの人との信頼関係を築くことにより、神は人によって起きた問題を解決し始める



1) 人が神から離れなかったなら、今の社会はどうなっていたでしょうか。

2) 私たちは日々、理想と現実、本音と建前、という矛盾を体験しています。人の神への反逆がなければ、このような事柄について、あなたの人生や経験はどうなっただしょうか。

ローマ人への手紙 1:18-32 を読みましょう

この手紙は1世紀にパウロが書いたもので、神への反逆に対する報いが描かれています。

- 1) 人の反逆はどれほど大きな不義だったでしょう。この箇所によると、人にそむかれ裏切られた神はどのように応答していますか。
- 2) 創世記3:3やローマ人への手紙1:32によると、神への反逆に対する罰は何でしょう。

パウロによると、人の反逆はあらゆるものに影響を与える問題です。

3) この箇所によると、人の反逆は私たちの知性や理解力にどのような影響を与えていますか。

18節

21-23節

25節

28節



「私はそんなに悪くない」と言うのは正しいでしょうか。自分の自分に対する評価は、信頼できるでしょうか。自分の力や能力で、人生の問題を解決できるとおもいますか。



主である神には人の反逆を罰する権威があります。しかし、神が人を助けようとするならどうでしょう。どのような適切で効果的な方法があるか、考えてみましょう。

創世記 11:27-12:9 と 15:1-6 を読みましょう

神が裏切った人を罰するなら、それこそ正義の神だと言えます。その罰とは「死」であるので、この世から人間の姿が消えてしまってもおかしくないでしょう。しかしこの箇所では、神は人を助けるために動き出します。アブラムとの信頼関係を築き、彼と「共にいる」ようになるのです。この関係は「契約」という古い方法を通して実現されました（「契約」を通して人と人、国と国の信頼関係が正式に保証されるということは当時よく知られていました）。ここでは一対一の関係ではなく、人類すべてとの和解を始めています。

- 1) 神がアブラムを祝福するということがだれが決めたのですか。
- 2) アブラムが神の祝福を得たのは神を喜ばせる行いをしたためでしょうか。
- 3) アブラムは主である神のことばにどのように応答しましたか。（12:4、15:6）
- 4) アブラムの応答と、アダムやエバの応答はどう違いますか。神との信頼関係を守るためにはどちらがふさわしいでしょうか。



1)「契約」について調べましょう。次の箇所を読んで、契約の特質をまとめて下さい。

創世記26:26-31、ヨシュア記9:1-26(「盟約」「協定」の原語は「契約」と同じ)、Iサムエル18:1-5、20:1-42

創世記12:2,3には、神がアブラムと結んだ契約の中心が書かれています。7節、「地」の約束も大切で、神はアブラムを通してわれわれ人間の問題を解決しようとしています。言いかえるなら、神は墮落前の状況を再現しようとしているのです。

1) 次の図は神の働きを表しています。あいているところに適切なことばを書き入れて下さい。

墮落前	墮落の結果	その回復
創世記1,2章	創世記3-11章	創世記12:2,3,7
(1:28) 祝福	(3:14,17) のろい	(12:2,3) _____
(1:28) 人の増加	(7:20-23) _____	(12:2:15:5) 増加
(1:28) 全地への広がり(11:4)	萎縮	(12:3後半) _____
(2:15) _____	(3:23) 追放	(12:7) 住む場所

- 1) 神との和解は自分で手に入れられるのでしょうか。神の祝福を得るためにあなたは自分の力で何かできると思いますか。
- 2) あなたがアブラムだと想像して下さい。神があなたを選び、特別な約束をしたなら、どのように応え、人生はどう変わるでしょうか。
- 3) 創世記3章では、人が神から離れた結果として人間関係もこわれたことを見ました。もしアブラムのように神との和解を得るなら、あなたの人間関係はどうなるでしょうか。



1) 創世記1-11章では「のろい」ということばが5回使われています(3:14,3:17,4:11,5:29,9:25)。創世記12:2,3で5回使われていることばは何ですか。どのような関連がありますか。この数から何がわかりますか。

2) 創世記15:6のアブラムの神への応答は、創世記1:3,4とどのような共通点がありますか。

3節「地上のすべての民族は、あなたによって祝福される」ことがアブラムとの契約の最も重要な内容であり、神はアブラムを通して全世界の人々へ回復の道を備えます。しかし、墮落からの回復は即座に起こるわけではなく、創世記15:1-6によると、それはアブラムの子孫を通して成就されます。

3) 神はアブラムとその子孫だけではなく全ての民に関心を持っています。それはなぜか、創世記1章の内容から考えてみましょう。

4) 神はこの約束を成就する力を持っているのでしょうか。創世記1章の内容から答えてみましょう。

5) 神とアブラムには個人的、人格的な関わりがあります。それは創世記15:1からどのようにわかりますか。

# IV 神の民

## 神はイスラエルの民を通して約束の成就を始める

① あなたに良い影響を与えた人がいますか。なぜその人に影響されたのでしょうか。

あなたも誰かに影響を与えているはずですが、あなたの与える影響は良いものでしょうか。それとも悪い影響しか与えていないのでしょうか。

アブラハム（以前はアブラムと呼ばれていた）にイサクが、イサクにヤコブという息子が生まれました。このヤコブは「イスラエル」とも呼ばれ、彼から「イスラエル」民族が生まれました。その民は長い間エジプトに居住していましたが、神はモーセを通してエジプトの支配から救い出しました。その後、神はイスラエルをかつてアブラハムに約束した地へ導きますが、途中のシナイ山において再び契約を結びます。それは民全体との契約です（旧約聖書は主にこの後の民の歴史、またその契約の成り行きについて書かれています）。

レビ記 26:3-13 を読みましょう

この箇所は神とイスラエルとの契約の最後の部分であり、契約の目的を明らかにしています。特にここでは、神が「共にいる主」となることが明らかになっています。

1) 今までの学びから、神は何のためにアブラハムとの契約を結んだのか考えましょう。

2) イスラエルはどのような面で墮落以前の状況への回復を体験するのでしょうか。下の創世記の箇所を読み、その内容と似ている文をこのレビ記の箇所から探し、節と、内容を書いて下さい。

創世記	レビ記	共通内容
-----	-----	------

1:28前半

1:29, 30; 2:8, 9

3:8前半

3) この三つの中で、根本的な祝福はどれでしょうか。

出エジプト記 19:1-8 を読みましょう


1) 神はイスラエルにどのような特権を与えようとしていますか。  
5 節  
6 節  
6 節

この箇所にも契約の目的が書かれています（「ヤコブの家」とはイスラエルのこと）。イスラエルは特別な目的のために選ばれ「聖なる国民」となります。「祭司の王国」とは、神と民との間に立ち、仲介することです。この約束の目的は、イスラエルを仲介者として整えることです。神はこの民を通して、アブラハムとの契約「地上の全ての民族はあなたによって祝福される」を成就しようとしています。

2) レビ記26章のように、イスラエルが神のことばに聞き従い、共に歩み続け、祝福された民族となるなら、まわりの民族はどのような目でイスラエルを見るのでしょうか。彼らはイスラエルの神についてどのように思うのでしょうか。



3) イスラエルが神のことばを無視するなら、まわりの民族はイスラエルやイスラエルの神についてどう思うでしょうか。

 出エジプト記20:1-17を読みましょう。  
神は様々な命令や戒めを与え、イスラエルがそれに従って共同体を形成することを望んでいました。それは分裂した社会に回復をもたらすためでした。その中心として、「十戒」といわれる十の戒めが宣告されました。その意味を考えてみましょう。


- 1) 最初の4つの戒めはだれとの関係を守るためですか。
- 2) 残りの6つは、だれとの関係を守るものですか。
- 3) 初めの4つを無視して、残りの6つに従うことができるでしょうか。それはなぜですか。
- 4) 最初の4つには一生懸命従い、残りの6つを無視することができるでしょうか。それはなぜですか。

### 詩篇67篇を読みましょう

後の時代に書かれたこの詩篇から、神のイスラエルに対する目的を明確に読み取ることができます。

- 1) 神はどの国に対して重荷を持っているでしょうか。(4節)
- 2) この詩篇の著者は何のためにイスラエルの祝福を願っていますか。(1、2節)

大きな目的—全ての民が神に立ち返る—を達成するため、イスラエルは神に造られました。人が神を裏切ったにもかかわらず、神は和解をめざし、イスラエルが忠実に神と共に歩み続けるならば、アブラハムの子孫であるイスラエルを通して全ての民を祝福しようとしています。

 あなたは何のために生きていますか。

あなたの人生で、自分のため、人のためはどれぐらいの割合ですか。

人に良い影響を与えるためにはどうしたら良いでしょうか。

# V 新しい契約

イスラエルは神の愛を裏切ったが、神は新しいスタートを誓う

① 誰かに裏切られたことや落胆させられたことがありますか。その時の気持ちはどうでしたか。そのような人をすぐに許せますか。相手があやまらなくても、あなたから声をかけることができますか。

レビ記 26:14-33 を読みましょう。

今回はレビ記26章から、イスラエルが神との信頼関係を守るとどうなるかを学びました。ここではその続きとして、イスラエルが神を見捨てたらどうなるかを考えます。

1) この箇所によると、イスラエルが神との契約を守らないとどうなりますか。

2) アダムとエバが受けた罰と似ているのはどの点ですか。次の箇所を比べて下さい。

創世記 3:17-19 と レビ記 26:16, 20  
創世記 3:23 と レビ記 26:33

3) イスラエルへの罰がアダムへの罰のように描かれているのはなぜでしょうか。

② 神はこのような罰を人に与える権威を持っていると思いますか。なぜそう思いますか。

あなたが神なら、アダムが反逆し、イスラエルも反逆したとき、どうすると思いますか。

アブラハムの時代から数百年後に、一度主である神の罰が与えられました。イスラエルが神の愛を裏切り、神から離れて多くの悪を行ったため、神は民の大部分をアッシリア帝国まで追い出したのです。しかしその時、神はイスラエルの一部であるユダ部族を残しておきました（彼らが住む地方の都はエルサレムという町でした）。このユダヤ人（ユダ部族）が神の契約の後継者となりました。



Ⅱ列王記17:1-23はイスラエルに対する罰の記録です。出エジプト記20:2-17の十戒と比べながら読んで下さい。

1) イスラエルはどのように戒めにそむきましたか。

2) 十戒の順序から、イスラエルの問題の中心点は何であったと考えられるでしょうか。その結果として起きた失敗は何でしたか。出エジプト記20:13とⅡ列王記17:17を比べて下さい。（火の中をくぐらせる＝いけにえとして燃やす）

エレミヤ書 11:1-13 を読みましょう

エレミヤはユダ王国時代の人で、神のことばを民に語る預言者であり、語った内容のほとんどは神と民との契約関係についてでした。

1) 5節の「あなたがたの先祖」とは誰のことですか。

2) 契約の主眼はどこにありますか（4節）。

3) イスラエルは神の声に聞き従いましたか（8節）。

4) イスラエルの行動に対して神はどうしましたか (8節)。

5) イスラエルの問題には二つの面がありました (10節)。

・すべきであるにもかかわらずしなかったことは何ですか。

・その代わりにしたことは何でしたか。

6) 神はユダにどのような罰を与えようとしていますか。レビ記 26:33を見てください。

残念なことにユダ部族は神を無視しつづけ、エレミヤの時代に、罰として神に与えられた地から追放され、バビロンへ行きました。しかしそのような中でも神はエレミヤを通して新しい恵みを約束しました。

エレミヤ書 31:31-34 を読んで下さい。



聖書は「旧約聖書」と「新約聖書」の二つに分けられますが、この呼び方はこの箇所から生まれました。「旧約」は昔のイスラエルとの契約、「新約」は新しい契約のことを意味しています。

1) 新しい契約と古い契約で変わらないのはどこでしょうか (レビ記 26:12 とエレミヤ 31:33 後半を比べてみて下さい)。

2) 古い契約と新しい契約はどう違いますか。下に書いて下さい。

古い契約	新しい契約	その違い
出エジプト記 34:1	エレミヤ書 31:33 前半	_____
エレミヤ書 31:32	エレミヤ書 31:34	_____

3) その違いをあなたのことばで表現してください。

4) アブラハムへの神の約束 (創世記 12:3) を考えると、この新しい契約はだれのためのものだと思いますか。

バビロンへ追放されたユダ部族は歴史から姿を消すことなく、やがて神の恵みによって自分の土地へ戻りました。しかしエレミヤを通して約束された祝福は、旧約聖書の終わりまで実現されませんでした。私たちは、次に何が起きるかを期待しています。



あなたの友人関係の中で、なかなか許せない人がいますか。

あなたには人を許す力がありますか。自分の心を変えるため何が必要でしょうか。

# VI インマヌエル

アブラハムやイスラエルとの契約を成就するため、イエスがこの世に来た

① 誰のためなら、自分の命を犠牲にすることができますか。

マタイによる福音書 1:18-23 を読みましょう

マタイはイエスの弟子の一人で、後にイエスのことを記録し、イエスがどのようにイスラエルとの契約を成就したかを示しました。マタイはまずイエスがアブラハムの子孫であるという重要な事実を確認しましたが、それに続く箇所です。

- 1) 「インマヌエル」の意味は何でしょうか。
- 2) 21節から、「イエス」という名前の意味は何でしょうか。
- 3) 今まで学んだこともふまえて、この幼な子の存在の意味についてどのようなことが分かりますか。

ヨハネによる福音書 1:1-14 を読みましょう

ヨハネもイエスの弟子で、後にイエスの生涯について書き記しました。しかしイエスの誕生からではなく、イエスが誰かを示す比喩的な文から書き始めています。「ことば」はイエスを意味しています。

- 1) 「初めに、ことばがあった」(1節)という表現から、第一回の学びで見た聖書の箇所で思い出すところがありますか(創世記1:1-5をもう一度読んで下さい)。この二つには、どのような関連があるでしょうか。

2) 「私たちの間に住まわれた(宿られた)」(14節)という表現から、IVで見た聖書の箇所を思い出すところがありますか(レビ記26:11をもう一度読んで下さい)。この二つには、どのような関連があるでしょうか。

3) 1-3節と14節で、ヨハネはイエスについて何を語ろうとしているのでしょうか。

4) 今まで学んだこともふまえて、「イエスは何のために生まれたのか」という問に対して、1-14節から答えましょう。

上のマタイとヨハネの箇所を読むと、神が昔アブラハムに語った約束はイエスを通して成就されたことがわかります。イエスを通して、主である神への反逆の結果から救われ、契約の目的(神との関係の回復)が達成されます。イエスこそ「共にいる主」(インマヌエル)だからです。これは「イエスは神である」ことも意味しています。創造主である神がイエスとして人に近づき、この世に下ってきたのです。

イエスはエレミヤ書で見られる新しい契約を開始しました(できれば、ルカによる福音書22:19、20とヘブル人への手紙8:6-13も見て下さい)。イエスがアブラハムの子孫の一人であり、彼を通して地上の全ての民が祝福されるということに注目しましょう。

しかし、主である神は人の不義を無視できず、私たちの反逆を甘く見ることはしません。神は義であり正しい方ですから、不義をゆるさず、さばかれます。ではどのようにして神は私たち正しくない人間と「共にいる」ようになれるのでしょうか。福音書によると、イエスは私たちのために罰を受け、私たちの身代わりとして十字架で死んで下さいました。それゆえに、私たちは神のもとに帰ることができるのです。

神の言葉を信じ、イエスを通してゆるしを受ける人は聖書で「キリスト者」(英語で「クリスチャン」)と呼ばれています(イエス・キリストを信じ従う人という意味です)。



十字架のできごとやイエスの復活については、ルカによる福音書 22:54-24:8 を読んで下さい。この箇所からイエスについてまたは人間、あなた自身について何がわかりますか。

ローマ人への手紙 5:1-11を読みましょう

ここで、パウロはクリスチャンのすばらしい世界を説明しています。「信仰によって義と認められる」とは神のことばを信じ、神を信頼することにより、反逆が許されるということです。「神との平和」は「神との和解」と同じで、「罪人」や「敵」はここで学んだ「反逆者」と同じです。

- 1) イエスが人のために死んだ時、私たちはどのような状態でしたか (6、8節)。
- 2) この事実を通して明らかに示されていることは何ですか (8節)。
- 3) 神が備えたさばきからの救いに、私たちはどのように応答したらよいでしょうか (1節、ヨハネ1:11, 12)。
- 4) 神との和解を得た人はどのような気持ちになるのでしょうか (2、11節)。
- 5) クリスチャンになれば、それだけで人生の問題がなくなるのでしょうか (3、4節)。

- 6) 神が与えようとする和解を私たちが拒絶すれば、すなわち敵のままに生活し続ければ、どういうことが起こるでしょうか。

**?** 人としてこの世に来た神は、あなたの迷いや苦しみをどの程度理解できるでしょうか (考えてから、ヘブル人への手紙2:18と4:15を見て下さい)。

イエスには、あなたの問題を解決する力がどの程度あるでしょうか。どうしてそう思いますか。

主である神はあなたと共にいますか。あなたの人生の中で、あなたを導いたり助けたりしていますか。そうなるため、どうすれば良いでしょうか。(ヨハネの手紙第一1:8, 9 を読んで下さい。ここでの「罪」とは私たちのあらゆる悪い行ない、思い。)

## VII 新しい神の民

復活したイエス・キリストが共にいることにより、クリスチャンたちはイエスのことを伝える共同体となる

① 「愛」にはどれぐらい影響力があると思いますか。あなたは誰かの愛によって変えられたという経験がありますか。

イエスは復活の後、天へ帰りましたが、私たちから離れたのではなく、神との和解を願う人と今も共にいます。聖書によると、イエスが私たちと共にいるというのは聖霊の働きであり、神が共にいることと同じです（「聖霊」も神のことを意味しています）。聖霊の働きによって、クリスチャンには多くの新しい可能性が与えられ、神の愛を裏切ったアダムやイスラエルとは違った生き方ができます。エレミヤが教えた通り（エレミヤ書32:33）、クリスチャンには神のことばに聞き従う新しい力が与えられています。その結果として、この世の全ての民に神のすばらしさをより良く語ることができます。それによって、神のアブラハムへの約束（創世記12:3）が成就されます。

エペソ人への手紙3:16-19を読みましょう

パウロはエペソの町にいるクリスチャンにこの手紙を書きました（「父」は神のことを意味しています）。

- 1) キリストがクリスチャンの心のうちに住むことは（17節）、旧約聖書のどのことばの成就ですか（わからない場合もう一度レビ記26:11を読んで下さい）。
- 2) キリストは何によって私たちと共にいるのですか（17節前半）。
- 3) クリスチャン人生の基礎となるのは何でしょうか（17節後半）。

- 4) 私たちの人生の中で、理解すべき、知るべきことは何ですか（18, 19節）。それはどの出来事で知らされていると思いますか。

コロサイ人への手紙3:12-4:1を読みましょう

ここでパウロは、クリスチャンの、共同体としての生活はどうあるべきかを具体的に説明しています。パウロは人間関係を、いや、人間が反逆で失った信頼関係の回復を強調します。神が共にいるからこそ、内面的な心の回復だけでなく、人との関係も変わらなければなりません。

- 1) パウロはどのような人にこのことばを語りましたか（12節）。
- 2) そのような人は互いにどのように関わらなければなりませんか（12-14節）。
- 3) その関わり方の模範や動機は何ですか（13節後半）。
- 4) 「キリストのことばを…住ませ」（16節）という表現から、すでに学んだどの箇所を思い出しますか（わからない場合もう一度ヨハネ1:14を読んで下さい）。
- 5) 3:18-4:1から、人間関係における適切な関わり方をまとめて下さい。
  - ・ 夫と
  - ・ 妻と
  - ・ 両親と
  - ・ 子供と
  - ・ 主人と（現代は自分の雇主と）
  - ・ 奴隷と（現代は自分の従業員と）

6) 3:18-4:1の内容は創世記3:16-19で起こるのろいと、どのような対照的な関連がありますか。



1) コロサイ1:23によると、「福音は、天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられて」います。なぜ福音は被造物全体と関わるものなのですか(コロサイ1:19,20とローマ8:19-22参照)。

2) マタイ28:16-19を読んで下さい。イエスが語ったことは前例のない話ではなく、旧約聖書とのつながりが多くあります。ここは、すでに学んだどの箇所と関係がありますか。

### ペテロの手紙第一 2:9-12 を読みましょう

ペテロもイエスの弟子であり、さまざまな批判や迫害に直面しているクリスチャンを励ますためにこの手紙を書きました。この手紙には、旧約聖書からの引用が多くあります。この手紙を受け取る教会には、異邦人(ユダヤ人ではない人)もいましたが、ペテロの理解では、教会と昔のイスラエルの存在には深い関連があったため、イスラエルについての文書を当時のクリスチャンに適用しました。

1) 9節の「王である祭司」という表現はこの学びで見たある箇所からの引用だと思われます(表現は少し違いますが、出エジプト記19:5、6を見て下さい)。クリスチャンは「祭司」であるということばかり、ペテロはクリスチャンや教会全体のどのような責任を明確にしようとしているのでしょうか。

2) 12節によると、クリスチャンが神に従う生活をした結果はどうなりますか(詩篇67参照)。

3) 神のメッセージをことばで伝えることについてどう考えますか。

4) 1ペテロ2:9-12とアブラハムの契約との関係は何でしょうか。



旧約聖書のイスラエルの民と、新約聖書における教会は、関連もありますが、違いもあります。双方とも「神の民」と言うことができますが、共通点は何でしょう。また、違いはどこにあるでしょうか。例えば、「神殿」については、何が同じで、何が違うでしょうか(Iコリント3:16-17、6:19-20、IIコリント6:16、エペソ2:19-22)。



もしあなたがクリスチャンなら、日々の生活は本当に神のすばらしさを現すものとなっていますか(例えばコロサイ3:12-4:1のような生活)。そうでない所があれば、これからどうしたらいいのでしょうか。具体的に答えて下さい。

あなたがクリスチャンでなければ、クリスチャンの友だちを見て、他の人との違いを感じますか。違いがあるならどのようなことですか。

## VIII 新しい創造

神は最終的にすべてを新しく創造し、自分の民との完成された信頼関係を持って、永遠まで彼らと共にいる



「天国」を想像したことがありますか。あなたが天国を造るとすれば、どのような所にしますか。この世、今のあなたの人生とどのように違うと良いと思いませんか。

新約聖書の時代に生きるクリスチャンの生活はかなり大変なものでした。ローマ帝国の支配下で、クリスチャンへの迫害が強くなり、信仰のために死ななければならないことも少なからずありました。そのような状況の中で「ヨハネの黙示録」が書かれました。この書の目的は、当時のクリスチャンの忠実な信仰生活を励ますことでした。黙示録は詩的で、分かりにくい表現があるかも知れませんが、中心は神は必ず悪に勝つということだと覚えておいて下さい。

### ヨハネの黙示録 5:6-14 を読みましょう

この箇所では、著者ヨハネは天国の様子を見ています。その中で人々はイエスを賛美しています（ここでイエスは小羊として描かれています）。

- 1) イエスは何のために賛美されているのでしょうか（9, 10節）。
- 2) 9節によると、アブラハムとの契約（創世記12:2, 3）はイエスによってどのように成就されましたか。
- 3) 10節によると、イスラエルとの契約（出エジプト記19:5, 6）はイエスによってどのように成就されましたか。



このようにすばらしいイエスにどのような態度で接すればよいでしょうか。今までイエスについてどう思っていましたか。

### ヨハネの黙示録 21:1-22:6 を読みましょう


ヨハネは旧約聖書の引用や比喩的なことばを用いて、この世の終わりや神の新しい創造を描いています。この箇所では神の契約、または約束の最終的な成就が見られます。ヨハネは天国の実際を表そうとしています。


- 1) 私たちが今生きている世は将来どうなるのでしょうか（21:1）。その代わりに、神は何を造るのでしょうか（21:1, 5）。
- 2) 黙示録21:2, 10, 12-14で見る花嫁のようなエルサレムという町は実際に何を意味しているのでしょうか（エペソ5:25-27参照）。
- 3) 神が自分の民と共にいるようになる、という昔からの約束はやがてどうなるのでしょうか（21:3）。
- 4) 創世記3章で起きたのろいは、やがてどうなるのでしょうか（21:4; 22:3）。
- 5) 黙示録22:1, 2 のどこがエデンの園に似ていますか（創世記2:8-10）。ここで再び現れているのはどのような木ですか。それが意味していることは何でしょうか（創世記3:22, 23をもう一度見て下さい）。



6) 黙示録22:4で神との親しい関わりはどのように描かれていますか。

7) 黙示録22:1-5によると、天国では何が中心で喜びとなるでしょうか。

 エゼキエル書47:1-12と48:30-35を読んで下さい。黙示録21:1-22:6で引用されているのはどの箇所ですか。ヨハネはそれで何を意味しようとしたと思いますか。


 黙示録21:1-22:6の内容はどのように当時のクリスチヤンの励ましとなったでしょうか。

神がやがて全ての約束を成就し、全てを新しく造るということは、あなたの今の人生のどのようなことに励ましとなりますか。

### 黙示録 22:12-21 を読みましょう

聖書全体の最後に至り、イエスが重大な招きをします。

- 1) 神が造る新しい世に、全ての人が入れますか (14, 15節)。
- 2) 私たちはどのように神からの新しい命を得ますか (17節)。
- 3) それを得るために、私たちは何か努力をしなければなりませんか (17節)。

 黙示録22:17をふまえ聖書全体の内容も考えると、聖書はどのような目的のために書かれたのでしょうか。あなたの元にその聖書があるということは、どのような意味があるのでしょうか。

聖書とあなたの人生の関係は何でしょうか。この8回の学びで見た内容によると、あなたの優先順位、日々の生活の持ち方などを、これからどう変えていけばよいでしょうか。

あなたの人生を変えるためには、まず神との関係を正さなければなりません。あなたがまだそれをしていなくても、心からそうしたいと思うなら、次のページへ進んで下さい。

私たちを造って下さった主である神との関係を正すためには、努力も、特別な儀式といったものも必要ではありません。大切なのはあなたの心の態度です。もしあなたが神の敵ではなく、友だちになりたいと願うなら、神にそむいてきたことを認め、それを神に告白して悔い改めましょう。そうすれば、神の許しを受け、新しい永遠の命をいただくことができます。

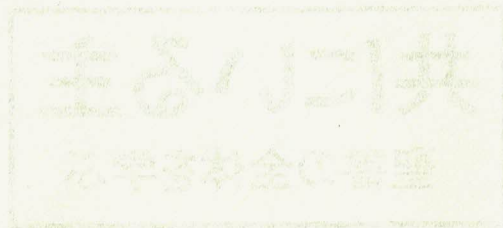
このことを願うなら、次の言葉を参考にして、神に祈って下さい。

「神様、私はずっとあなたのことを無視して生きてきました。あなたが私を造り、毎日支えてくださったにもかかわらず、私はそれを認めないで、あなたにそむくような生活をしてきました。愛が足りず、悪いこともしてきました。そのため私は罰を受けなければなりません。しかしイエスさまが十字架で死なれ、私の代わりにその罰を受けて下さったことを感謝します。どうか私をゆるして下さい。そして私を変えて下さい。主である神様、あなたに従えるように助けてください。自分ではなくて、あなたのこと、また隣にいる人を愛する人生になるように私を助けて下さい。そして、天国に行くまで、あなたが私と共にいるようにして下さい。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」

心からこの祈りを祈るなら、あなたは「クリスチャン」となります。クリスチャンとは、イエス・キリストに従って歩む人なのです。神の助けによって、その時から新しい人生が始まります。それには失敗がないわけではありません。最終的な完成は天国にあります。しかしその時まで成長し続けなければなりません。そのため、毎日聖書を読み、祈ることも大切です。神のことばである聖書を読み、神に祈ることは、神との人格的な関わりを持ち続けるための、会話と同じです。

クリスチャンとしての成長のために大切なことのひとつは、クリスチャンとの交わりです。それは「教会生活」です。孤立したクリスチャンではなく、共同体の中で歩むことは、私たちの回復された人生の大きな一部です。また、クリスチャンが集まり、ともに聖書を学び、祈り、互いに励まし合うなら、成長の大きな助けとなります。今まで教会に行ったことがなければ、ぜひあなたの近くのクリスチャンに相談して、教会へ行ってください。



2003年6月 初版発行

2007年6月 第四版発行

2011年3月 改訂版発行

著者 フィリップ・マイルズ (KGK 主事)

発行者 キリスト者学生会 関西地区主事会

発行所 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 3 階

Tel&Fax: 03-3294-6916

Email: office@kgk-japan.net